

2021年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

2021年2月8日
株式会社ナック
東証一部 9788



注) 当社は第3四半期において、決算説明会を開催していません。
本資料は、第3四半期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

本資料の記載内容

- | | | |
|-------------|---|------|
| 1. 第3四半期の実績 | … | P. 2 |
| 2. セグメント別業績 | … | P. 9 |
| 3. 配当方針 | … | P.20 |
| 4. 補足資料 | … | P.22 |

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否、また新型コロナウイルス感染症などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 第3四半期の実績

1 2021年3月期 第3四半期：連結損益計算書

(単位：百万円)

	'21.3月期 Q3 実績	'20.3月期 Q3 実績	増減率	'21.3月期 通期 公表値 (9月14日)
売上高	40,935	62,290	▲ 34.3 %	56,000
売上総利益	20,329	23,806	▲ 14.6 %	-
(売上総利益率)	49.7 %	38.2 %	+ 11.4 pt	-
販管費	18,631	23,509	▲ 20.7 %	-
営業利益	1,697	297	571.4 %	2,000
(営業利益率)	4.1 %	0.5 %	+ 3.6 pt	3.6 %
営業外損益	▲ 149	▲ 63	-	-
経常利益	1,548	234	661.5 %	1,900
特別損益	76	▲ 42	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,412	▲ 564	-	1,350

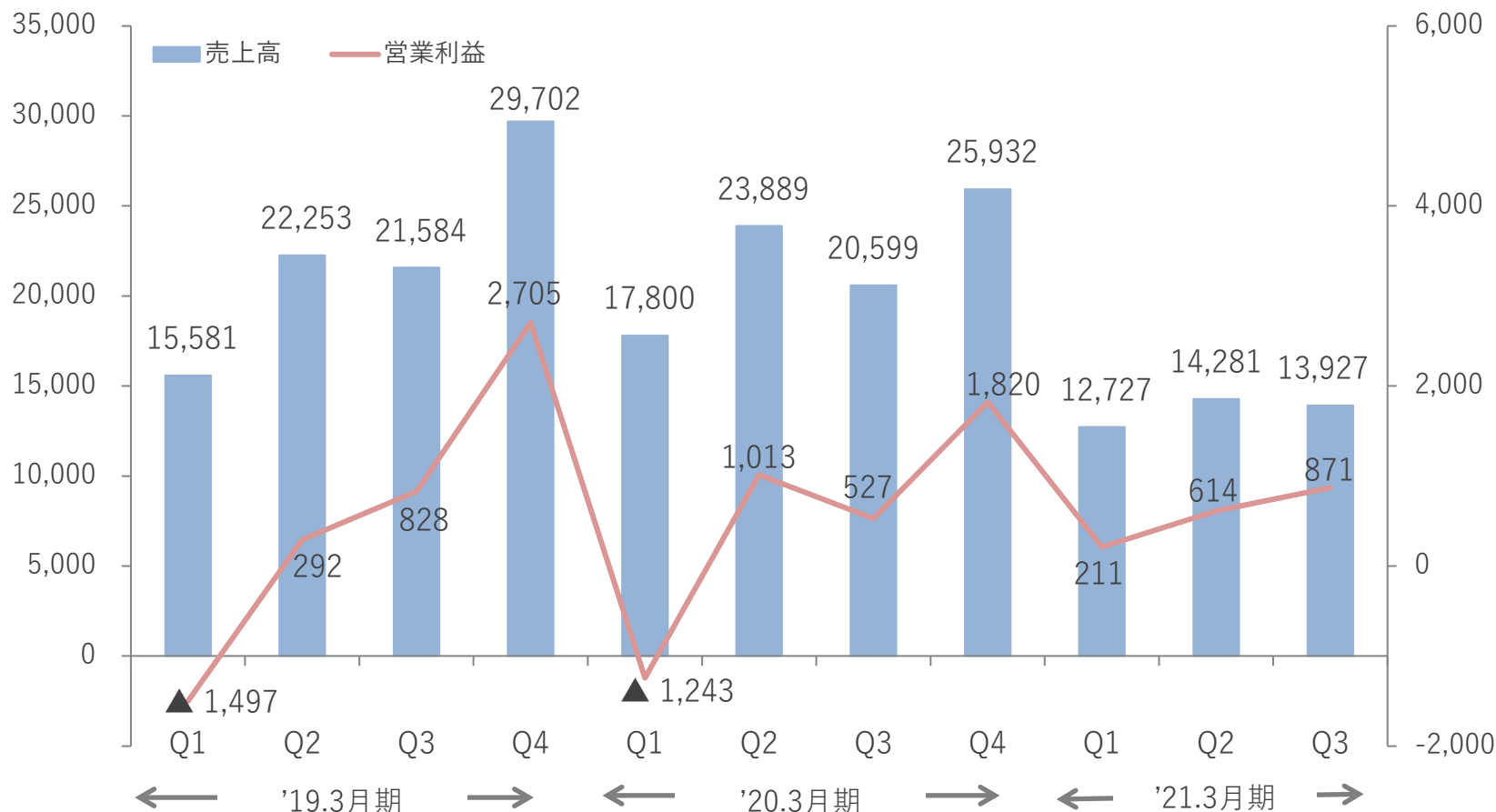
» 売上高は、主に住宅事業のレオハウス連結業績除外により、前年同期を下回った。

» 営業利益は、前年同期に計上していたレオハウスの損失の除外とクリクラ事業の大幅伸長により、前年同期を上回った。

1 四半期別 売上高／営業利益の推移

(単位：百万円)

(単位：百万円)



» '20.3月期までは、売上の半分以上を占める住宅事業において、住宅の引渡しが期末に偏ることで、上期の営業損益はマイナス傾向であったが、中核子会社レオハウスの全株式譲渡にともない、当期では四半期ごとに営業利益を計上した。

1 セグメント別：売上高

(単位：百万円)

	'21.3月期 Q3 実績	'20.3月期 Q3 実績	増減率	'21.3月期 通期 公表値 (10月30日)
ク リ ク ラ	11,320	9,958	13.7 %	14,500
レ ン タ ル	11,084	11,160	▲ 0.7 %	14,100
建 築 コ ン サ ル	5,795	3,842	50.8 %	9,000
住 宅 事 業	7,283	30,603	▲ 76.2 %	10,000
美 容 ・ 健 康 事 業	5,482	6,758	▲ 18.9 %	8,400
消 去 調 整 他	▲ 31	▲ 33	-	-
合 計	40,935	62,290	▲ 34.3 %	56,000

- ▶ クリクラ事業では、クリクラボトルの価格改定に加え、直営部門における顧客単価の向上と、加盟店部門におけるサーバー販売数の増加、両部門における自社製次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の売上が伸長したことにより、前年同期を上回った。
- ▶ レンタル事業は、「with(ウィズ)」を主力とする害虫駆除事業の売上が減少した一方、ダスキン事業におけるケアサービス部門の事業数追加により売上が増加し、前年同期とほぼ同水準を維持した。
- ▶ 建築コンサルティング事業は、期初よりsuzukuriとエースホームを当事業セグメントに加えたため、前年同期を大幅に上回った。
- ▶ 住宅事業は、レオハウスの全株式譲渡にともない、前年同期を大幅に下回った。
- ▶ 美容・健康事業は、昨年7月にJIMOSの自社ECサイトにおいて使用しているサーバーへの不正アクセスが発生し一時的にECサイトを停止した結果、顧客数が減少したことと、コロナ禍における化粧品業界全体の低迷が響き、前年同期を下回った。

1 セグメント別：営業利益

* カッコ内の数字は売上高に対する営業利益率です。

(単位：百万円)

	'21.3月期 Q3 実績	'20.3月期 Q3 実績	前年同期比	'21.3月期 通期 公表値 (10月30日)
ク リ ク ラ	1,305 (11.5 %)	587 (5.9 %)	+ 717 (+ 5.6 pt)	1,300 (9.0 %)
レ ン タ ル	1,042 (9.4 %)	1,476 (13.2 %)	▲ 433 (▲ 3.8 pt)	1,300 (9.2 %)
建 築 コ ン サ ル	300 (5.2%)	400 (10.4 %)	▲ 99 (▲ 5.2 pt)	750 (7.5 %)
住 宅 事 業	▲ 88 (▲ 1.2 %)	▲ 1,439 (▲ 4.7 %)	+ 1,351 (+ 3.5 pt)	▲ 100 (▲ 1.0 %)
美 容 ・ 健 康 事 業	10 (0.2 %)	80 (1.2 %)	▲ 70 (▲ 1.0 pt)	50 (0.6 %)
全 社 費 用 等 (新規・M&Aを含む)	▲ 872	▲ 807	▲ 65	▲ 1,300
合 計	1,697 (4.1 %)	297 (0.5 %)	+ 1,399 (+ 3.7 pt)	2,000 (3.6 %)

- ▶ クリクラ事業は、直営・加盟店両部門において売上高が伸長したことにより、前年同期を大幅に上回った。
- ▶ レンタル事業は、利益率の高い害虫駆除事業の売上高が大幅に減少したことにより、前年同期を下回った。
- ▶ 建築コンサルティング事業は、suzukuriおよびナックススマートエネルギーが赤字計上となったことにより、前年同期を下回った。
- ▶ 住宅事業は、レオハウスの全株式譲渡にともない、同社の業績数値（前年同期営業損失計上）を当社グループの連結業績から除外したことで、前年同期を上回った。
- ▶ 美容・健康事業は、JIMOSとベルエアーにおいて広告宣伝費を中心とする販売費及び一般管理費を削減したものの、売上高の減少を補いきれず、前年同期を下回った。

1 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

			前年同期比増減率
2020年3月期Q3 営業利益		297	-
①売上総利益		▲ 3,477	▲ 14.6 %
※ ②販管費の増減	人 件 費	+ 1,397	+ 16.6 %
	広告宣伝費及び販売促進費	+ 986	+ 29.8 %
	地 代 家 賃 ・ 賃 借 料	+ 589	+ 33.5 %
	減価償却費・のれん償却費	+ 393	+ 33.2 %
	支 払 手 数 料	+ 100	+ 9.4 %
	そ の 他 販 管 費	+ 1,410	+ 18.1 %
2021年3月期Q3 営業利益		1,697	-

※販管費の増減額について,+は損益の増加/▲は損益の減少

① 売上総利益の減少理由

» レオハウスの全株式譲渡により売上高が減少したことによる。

② 販管費の増減理由

» 販管費総額の減少は、主にレオハウスの全株式譲渡にともない、同社の業績数値を当社グループの連結業績から除外したことによるが、広告宣伝費及び販売促進費の減少は、レオハウスの減少分に加え、JIMOSにおいても削減したことが大きく影響している。

1 2021年3月期 第3四半期：連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年 12月末	構成比	2020年 3月末	構成比	増減額
流動資産	27,109	64.4 %	28,858	62.1 %	▲ 1,749
有形固定資産	8,976	21.3 %	10,615	22.9 %	▲ 1,639
無形固定資産	2,004	4.8 %	2,253	4.9 %	▲ 248
投資その他の資産	3,964	9.4 %	4,626	10.0 %	▲ 662
固定資産計	14,945	35.5 %	17,496	37.7 %	▲ 2,551
繰延資産合計	37	0.1 %	78	0.2 %	▲ 41
資産合計	42,091	100.0 %	46,433	100.0 %	▲ 4,342

流動負債	14,719	35.0 %	20,125	43.3 %	▲ 5,406
固定負債	6,468	15.4 %	6,499	14.0 %	▲ 31
負債合計	21,187	50.3 %	26,625	57.3 %	▲ 5,438
株主資本	21,535	51.2 %	20,601	44.4 %	+ 933
その他の包括利益累計額	▲ 685	▲ 1.6 %	▲ 844	▲ 1.6 %	+ 158
非支配株主持分	54	0.1 %	50	0.1 %	+ 4
純資産合計	20,904	49.7 %	19,808	42.7 %	+ 1,095
負債・純資産合計	42,091	100.0 %	46,433	100.0 %	▲ 4,342

主な増減要因

■ 流動資産：現金及び預金 + 4,163 販売用不動産 ▲ 2,570 未成工事支出金 ▲ 1,099 受取手形及び売掛金 ▲ 700

■ 固定資産：建物及び構築物 ▲ 1,942

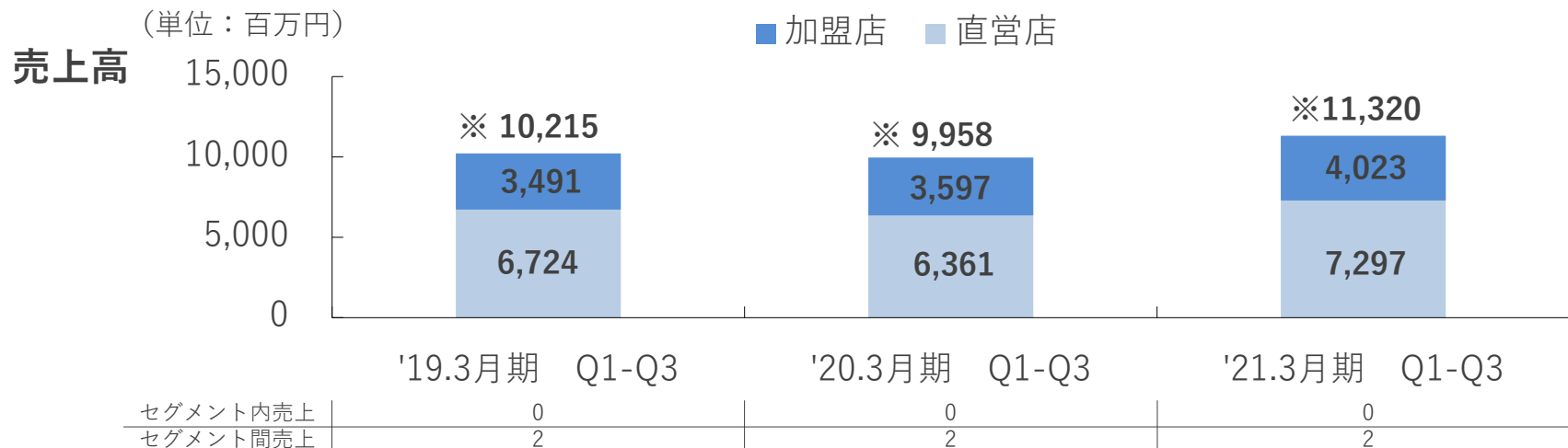
■ 流動負債：買掛金 ▲ 3,109 未成工事受入金 ▲ 1,641

■ 固定負債：資産除去債務 ▲ 455 長期借入金 + 135

自己資本比率：49.5 %

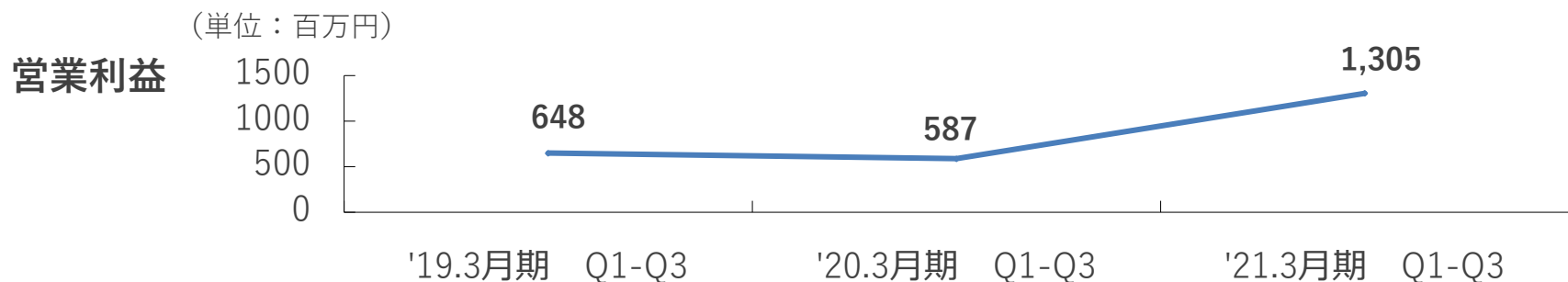
2. セグメント別業績

2 セグメント別業績（1）クリクラ事業 ①



※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- » 直営部門・加盟店部門ともに、クリクラボトルの価格改定と自社製次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」の売上が大幅に伸長したことにより、前年同期比で大幅に増加した。
- » 直営部門では、上記要因に加え、家庭顧客の需要増加に伴いサーバー1台あたりのボトル消費量が増加し、前年同期比で増加した。
- » 加盟店部門では、上記要因に加え、サーバー販売台数が増加したことで、前年同期比で増加した。

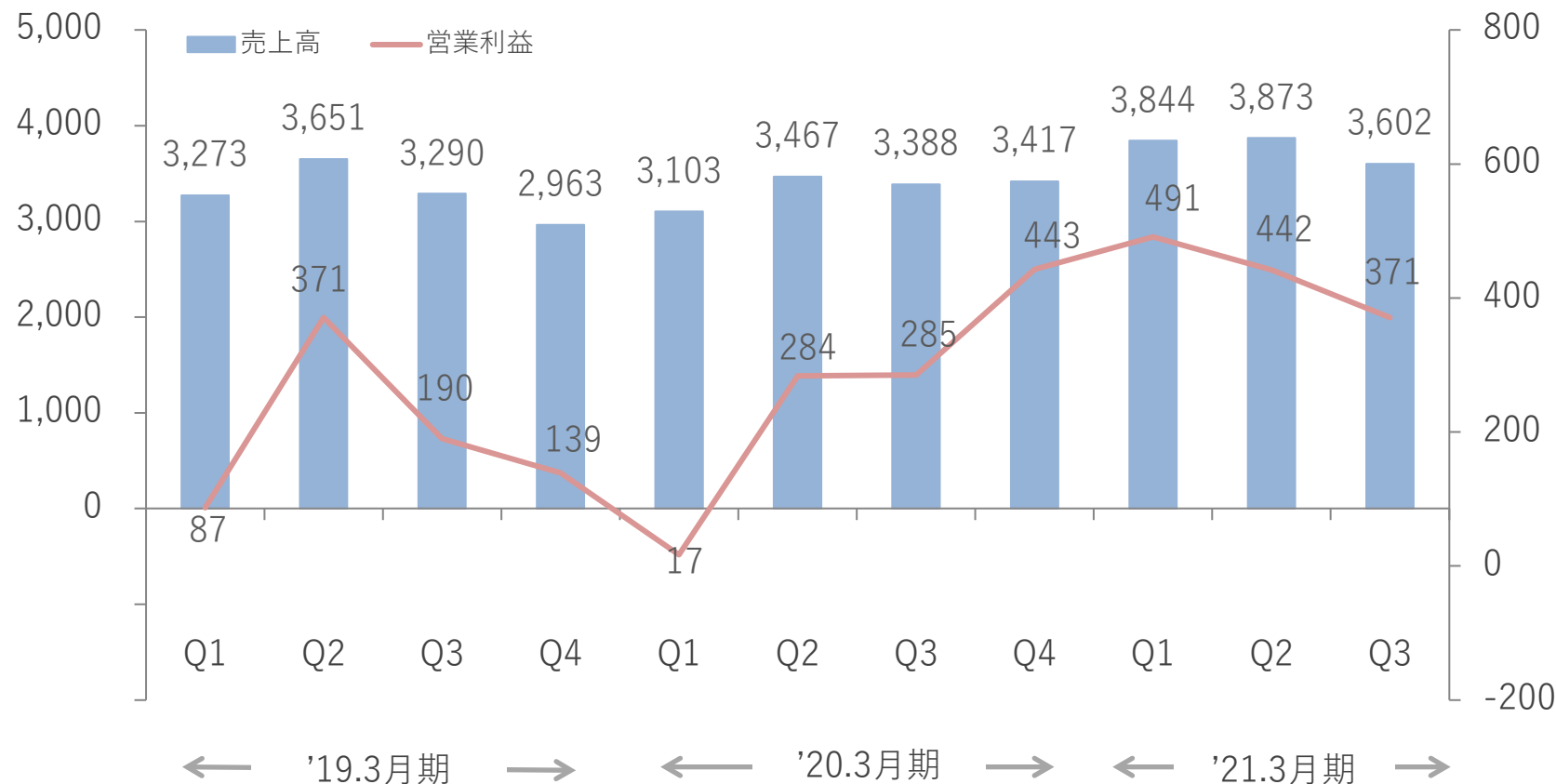


- » 損益面では、直営・加盟店両部門において、売上高が増加したことで、営業利益が前年同期比で大幅に増加した。

2 セグメント別業績（1）クリクラ事業 ②

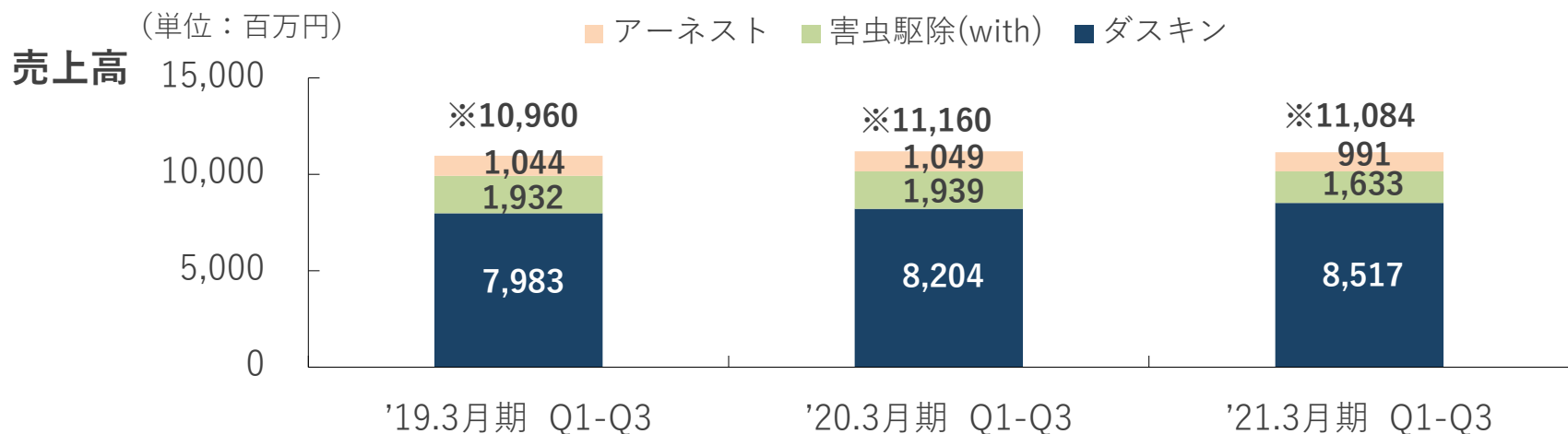
（単位：百万円）

（単位：百万円）



※ '20.3月期までは、第1四半期にテレビCMなどの販促費を増加し、第2四半期以降で利益率が高まる傾向。当期では、コロナ禍で例年と違い、四半期総じて利益率が高くなっている。

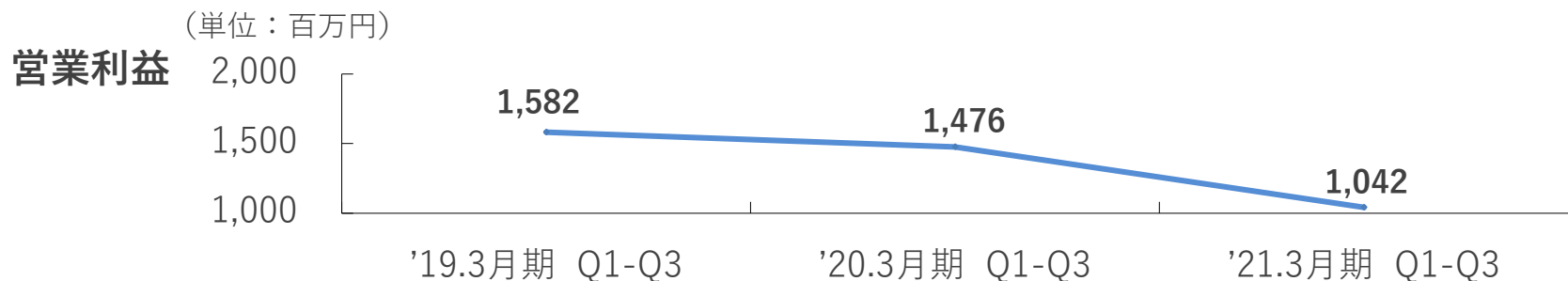
2 セグメント別業績（2）レンタル事業 ①



セグメント内売上	0	0	0
セグメント間売上	4	2	4

※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- ダスキン事業では、ダストコントロール商品部門において、コロナ禍で顧客に喜ばれる商材を適宜選定の上積極的に提案したことと、ケアサービス部門における事業数追加により、前年同期比で増加した。
- 害虫駆除事業では、主要顧客である大都市圏の飲食店業界が休業を余儀なくされたことにより、前年同期比で大幅に減少した。
- アーネスト(法人向け定期清掃サービス)では、商業施設やオフィスなどの休業により、前年同期比で減少した。

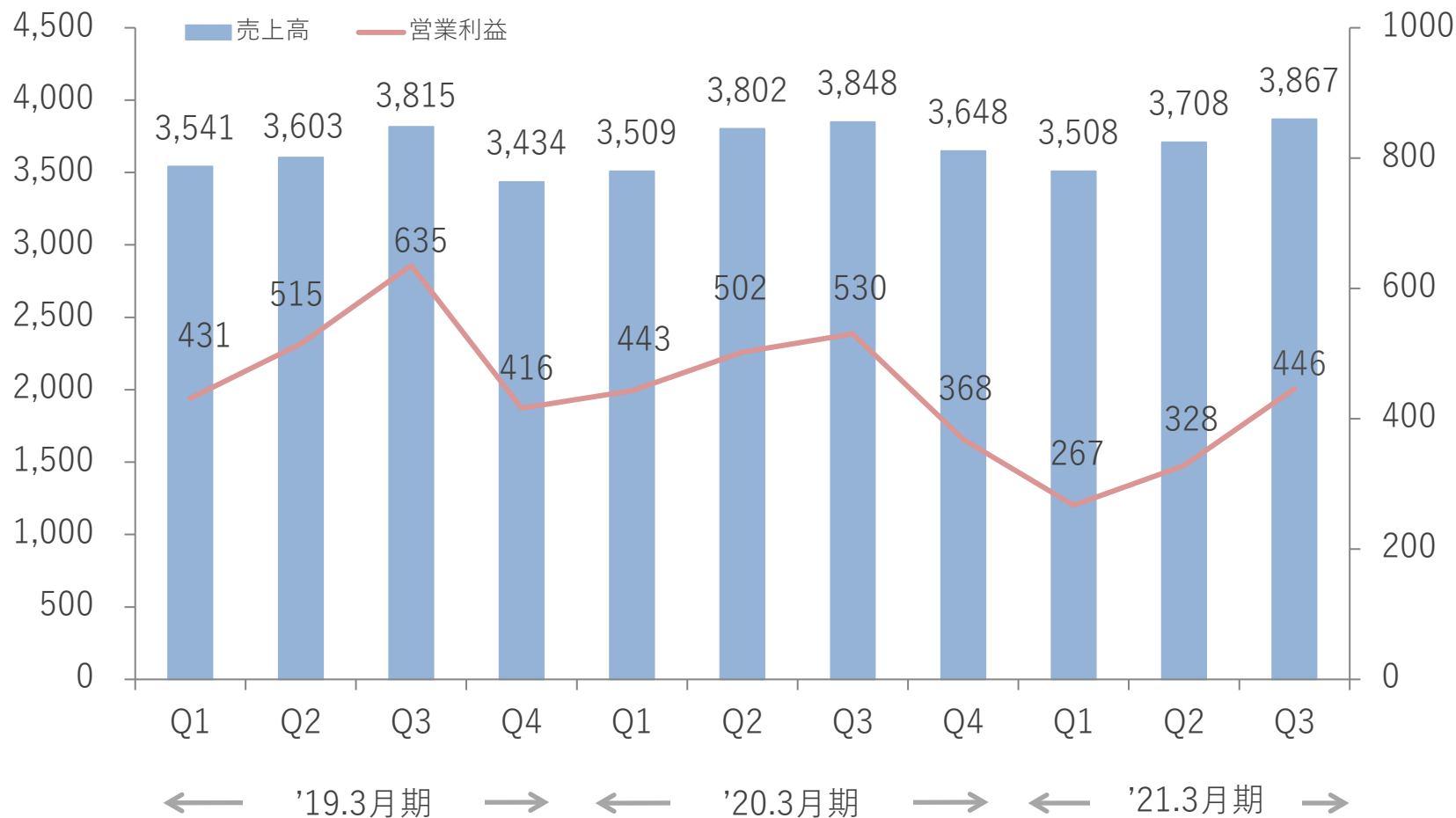


- 損益面では、利益率の高い害虫駆除事業における売上高が大幅に減少したことと、ダスキン事業における販売促進活動強化による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益が前年同期比で減少した。

2 セグメント別業績（2） レンタル事業 ②

（単位：百万円）

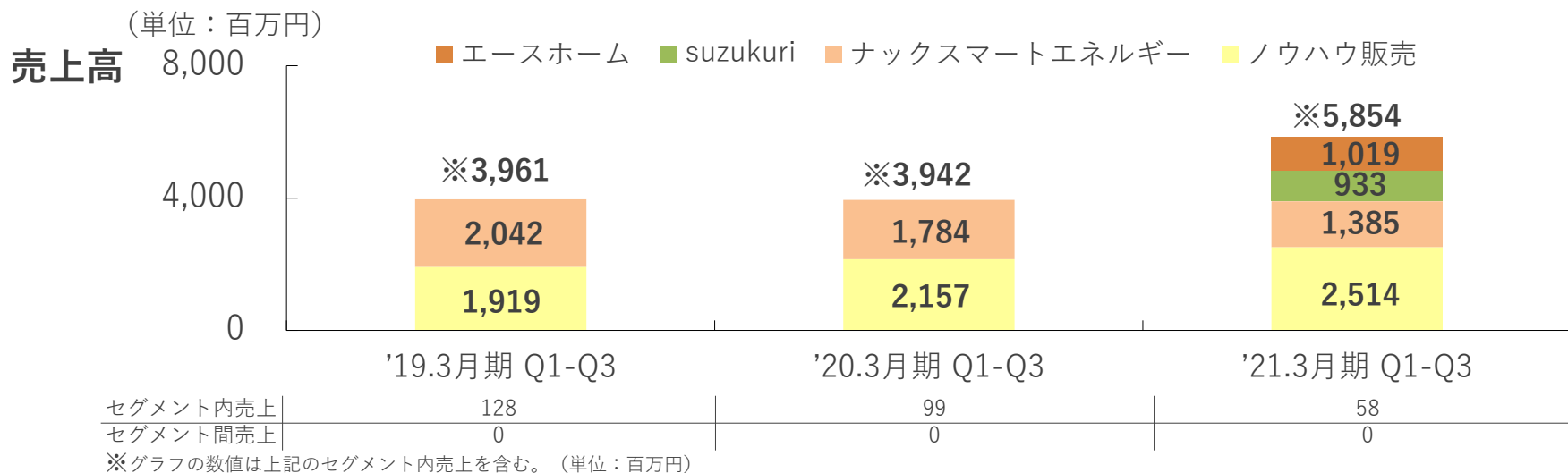
（単位：百万円）



» 一年を通じて売上高・営業利益が安定。

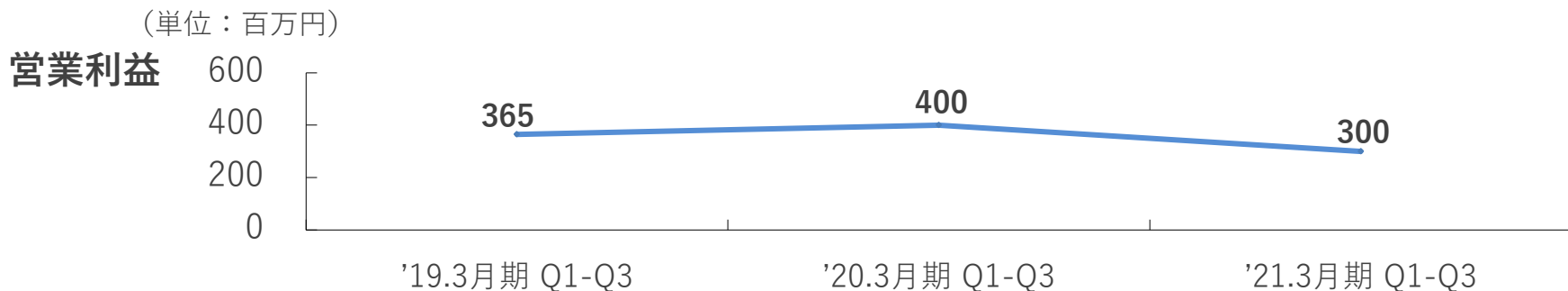
2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ①

注）2020年4月より、エコ&エコがナックススマートエネルギーに社名変更し、suzukuriを住宅事業セグメントから建築コンサルティング事業セグメントに移管しました。
なお、'20.3月期まで表示していた部資材販売はノウハウ販売とナックススマートエネルギーに含めています。



≫ ノウハウ販売部門では、感染症の影響を受けたものの、既存会員に向けたサポート強化が奏功したことなどにより、前年同期とほぼ同水準（建築部資材販売を除く）を維持した。

≫ ナックススマートエネルギーでは、感染症の影響で一部着工遅れが発生したことにより、前年同期比で減少した。

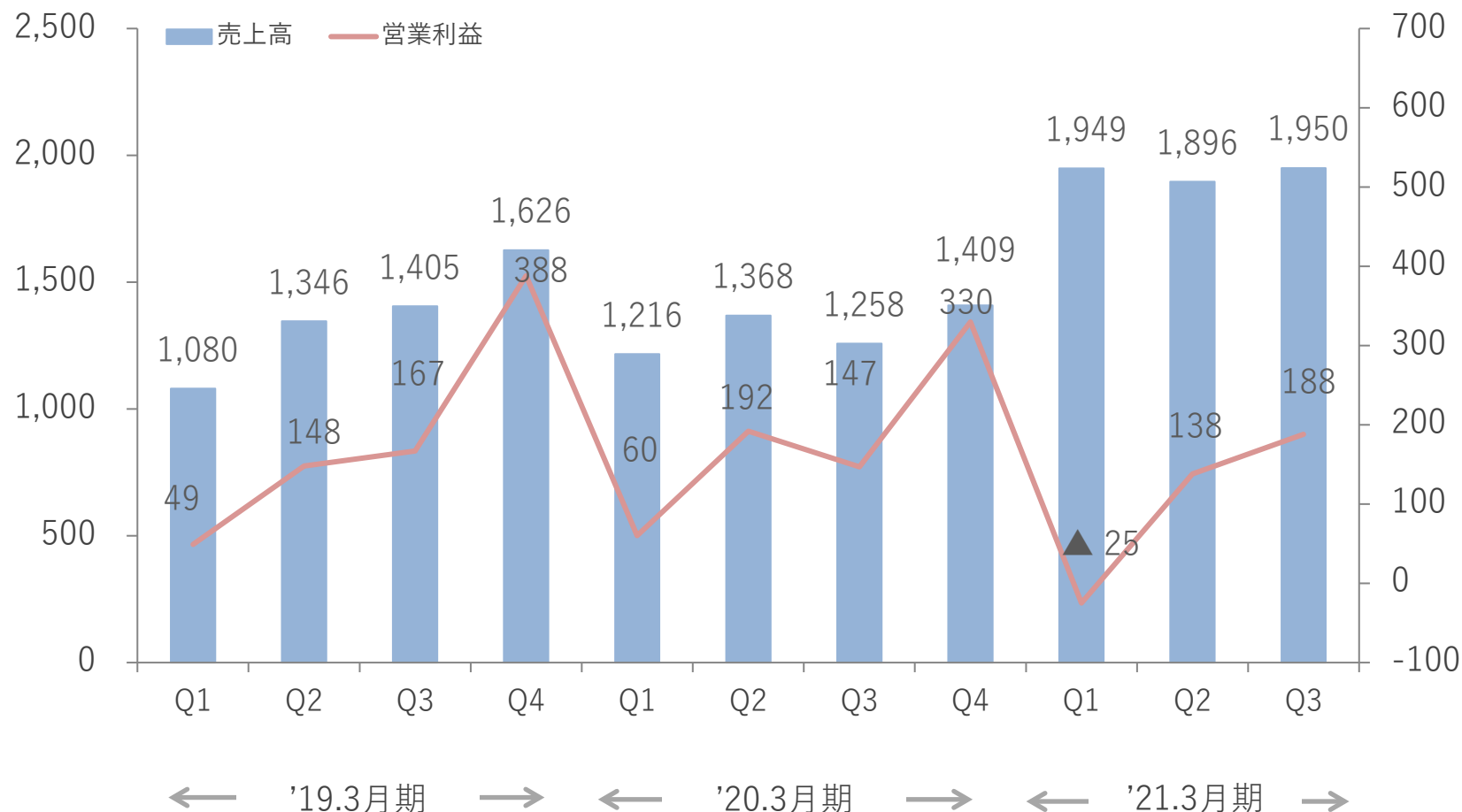


≫ 損益面では、suzukuriとナックススマートエネルギーが赤字計上したことにより、営業利益は前年同期比で減少した。

2 セグメント別業績（3）建築コンサルティング事業 ②

（単位：百万円）

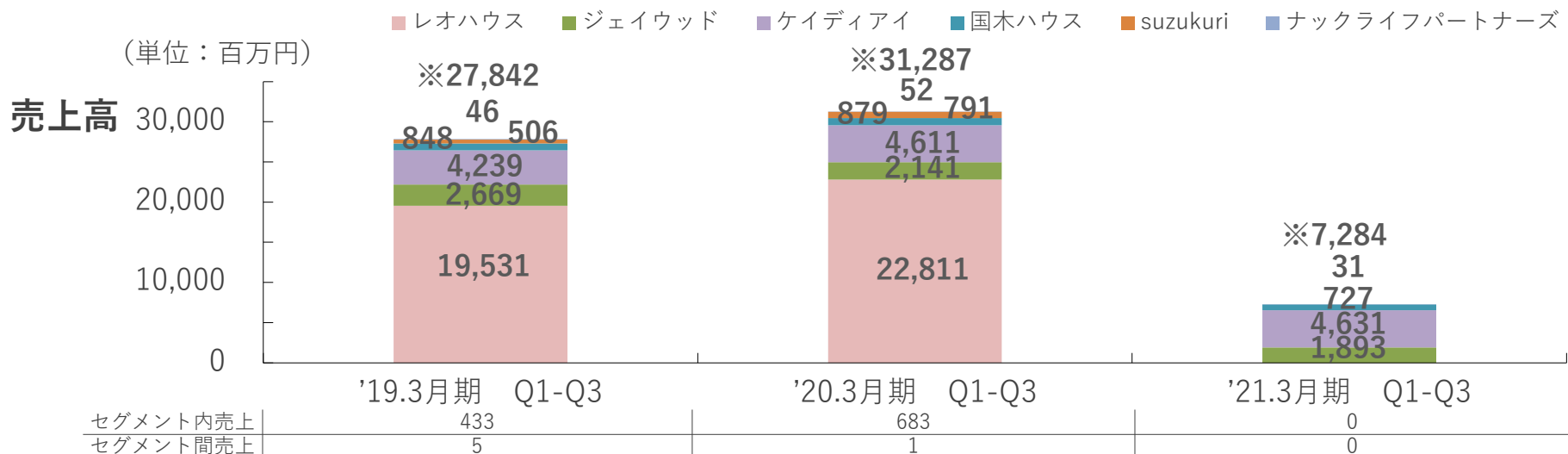
（単位：百万円）



» 住宅市場がメインターゲットとなるため、売上高・営業利益ともに、第4四半期に集中する傾向。suzukuriとエースホームが当事業セグメントに加わったことでこの傾向が強まっている。

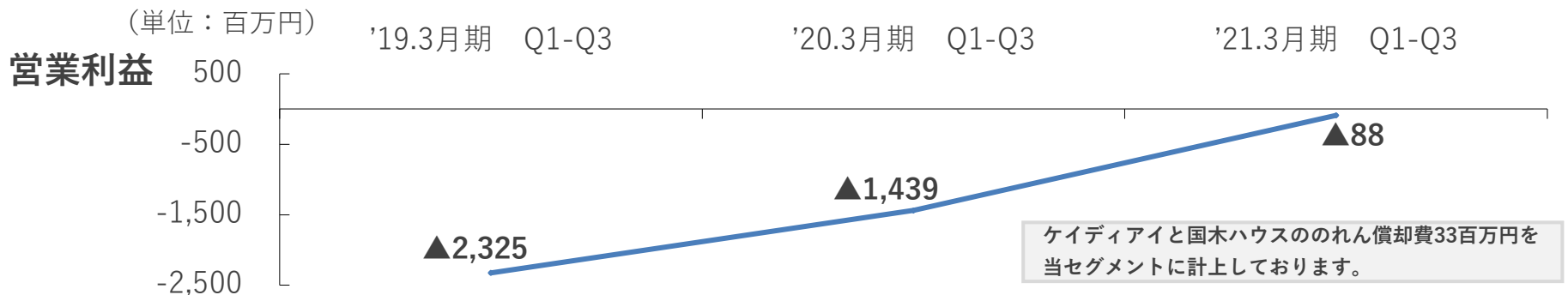
2 セグメント別業績（４）住宅事業 ①

注）当社は2020年5月14日にレオハウスの全株式を譲渡したため、今期初より同社の実績を連結業績から除外しています。
また、suzukuriを住宅事業セグメントから建築コンサルティング事業セグメントに移管しました。
なお当第2四半期より、前期までレオハウスに含めていた、住宅ローンのつなぎ融資を主とする子会社「ナックライフパートナーズ」を表記しています。



※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。(単位：百万円)

- レオハウスの全株式譲渡にともない、前年同期比で大幅に減少した。
- ケイディアイでは、前年同期と同水準を維持した。
- ジェイウッドと国木ハウスでは、住宅の受注棟数が伸長した一方で完工棟数が減少したことにより、前年同期比で減少した。

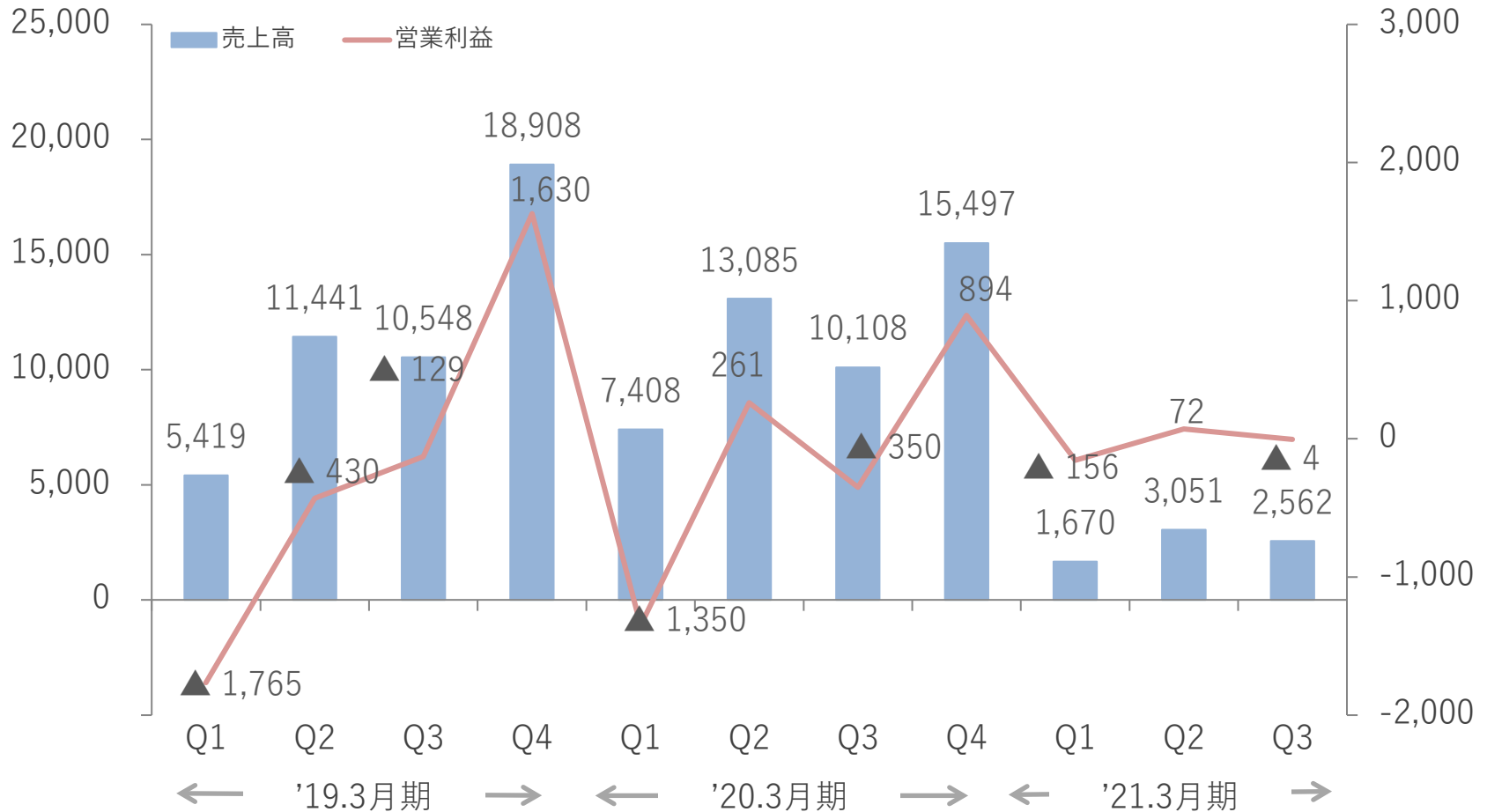


損益面では、レオハウスの全株式譲渡にともない、同社の業績数値（前年同期営業損失計上）を、当社グループの連結業績から除外したことにより、営業損失が前年同期比で減少した。

2 セグメント別業績（4）住宅事業 ②

（単位：百万円）

（単位：百万円）

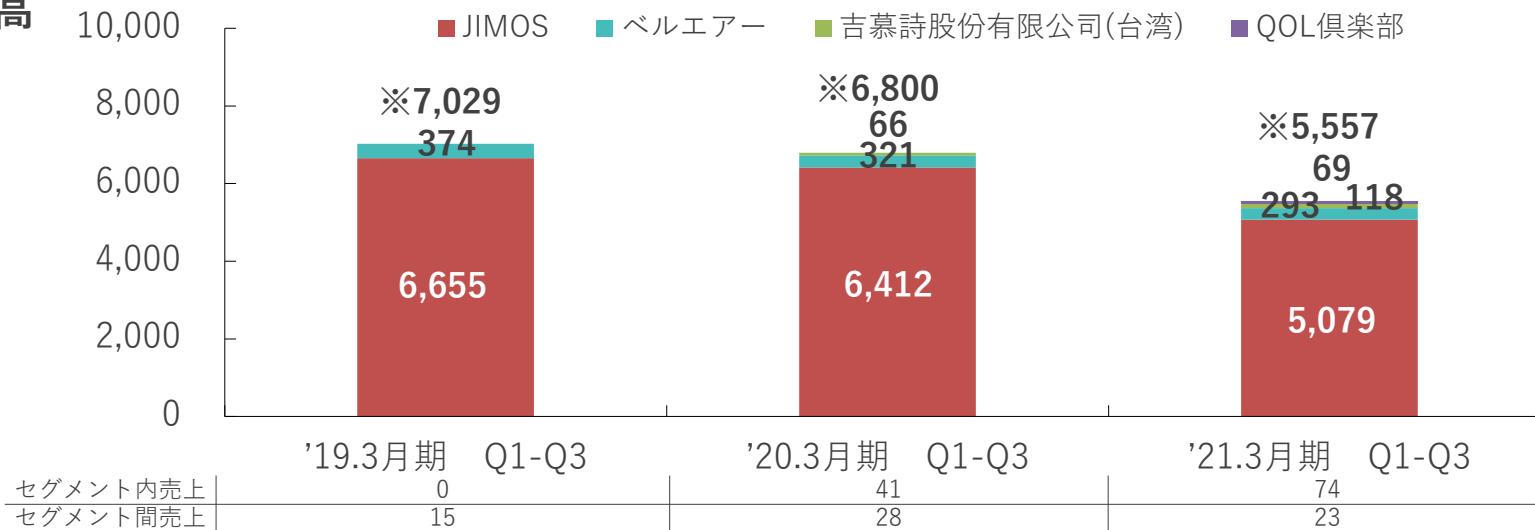


≫ '20.3月期までは、住宅の引渡しが集中する第4四半期に売上高・営業利益が高まる傾向。
レオハウスの全株式譲渡にともない事業規模が縮小している。

2 セグメント別業績（5）美容・健康事業 ①

（単位：百万円）

売上高



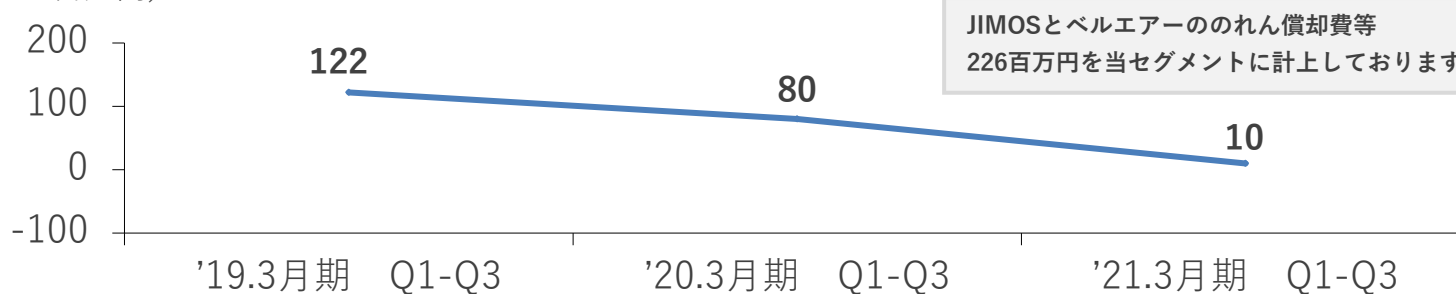
※グラフの数値は上記セグメント内売上とセグメント間売上を含む。（単位：百万円）

» JIMOSは自社ECサイトにおいて使用しているサーバーへの不正アクセスが発覚し、2019年8月よりECサイトを停止したことで、コロナ禍における化粧品業界全体の低迷が響いたことにより、前年同期比で減少した。

» ベルエアーでは、美容健康雑貨等の販売拡大に取り組んだものの、前年同期比で減少した。

（単位：百万円）

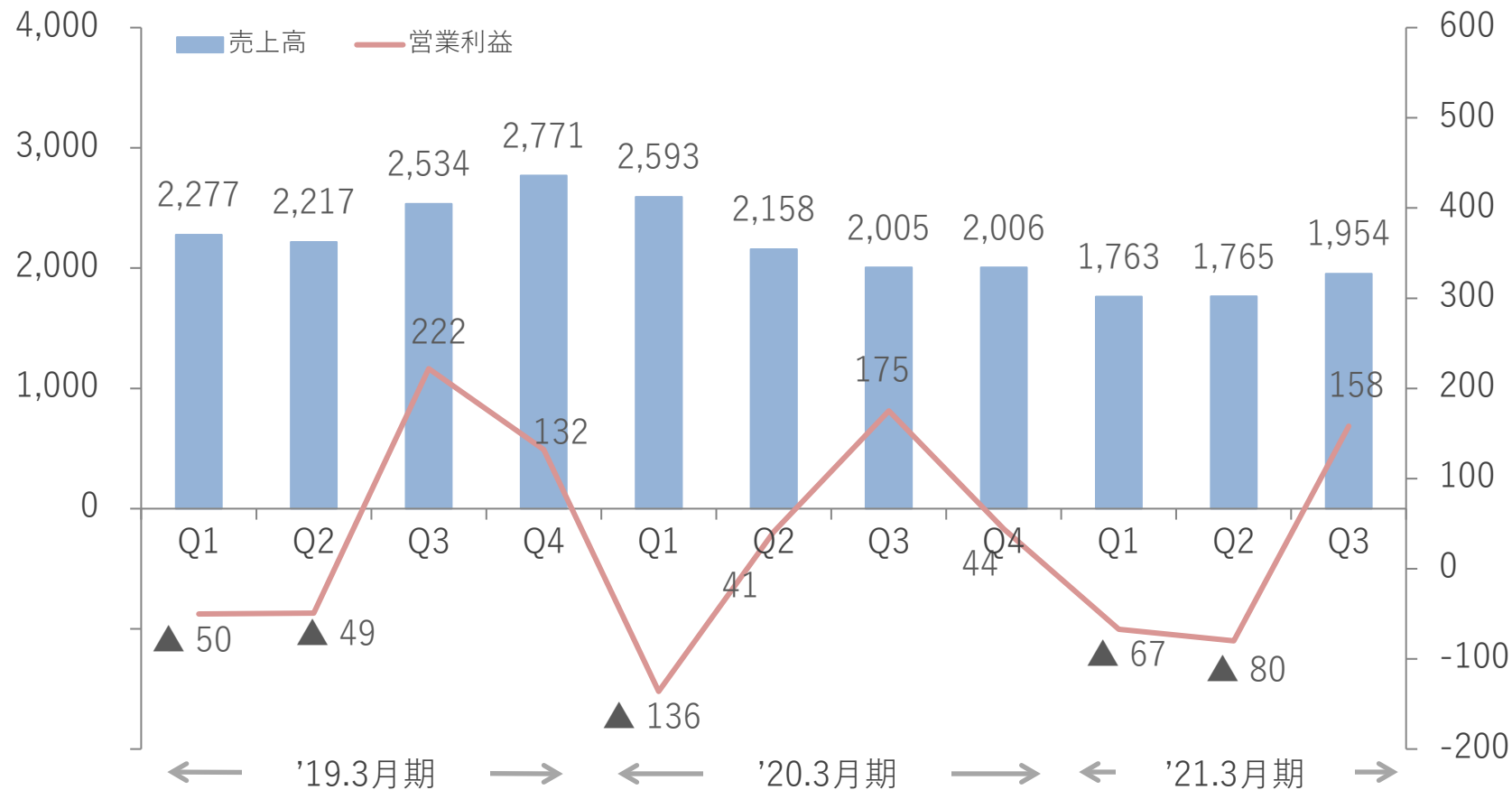
営業利益



» 損益面では、JIMOSとベルエアーにおいて、販売費及び一般管理費の削減に取り組んだが、JIMOSの売上高の減少に伴い、営業利益は前年同期比で減少した。

2 セグメント別業績（5）美容・健康事業 ②

(単位：百万円)

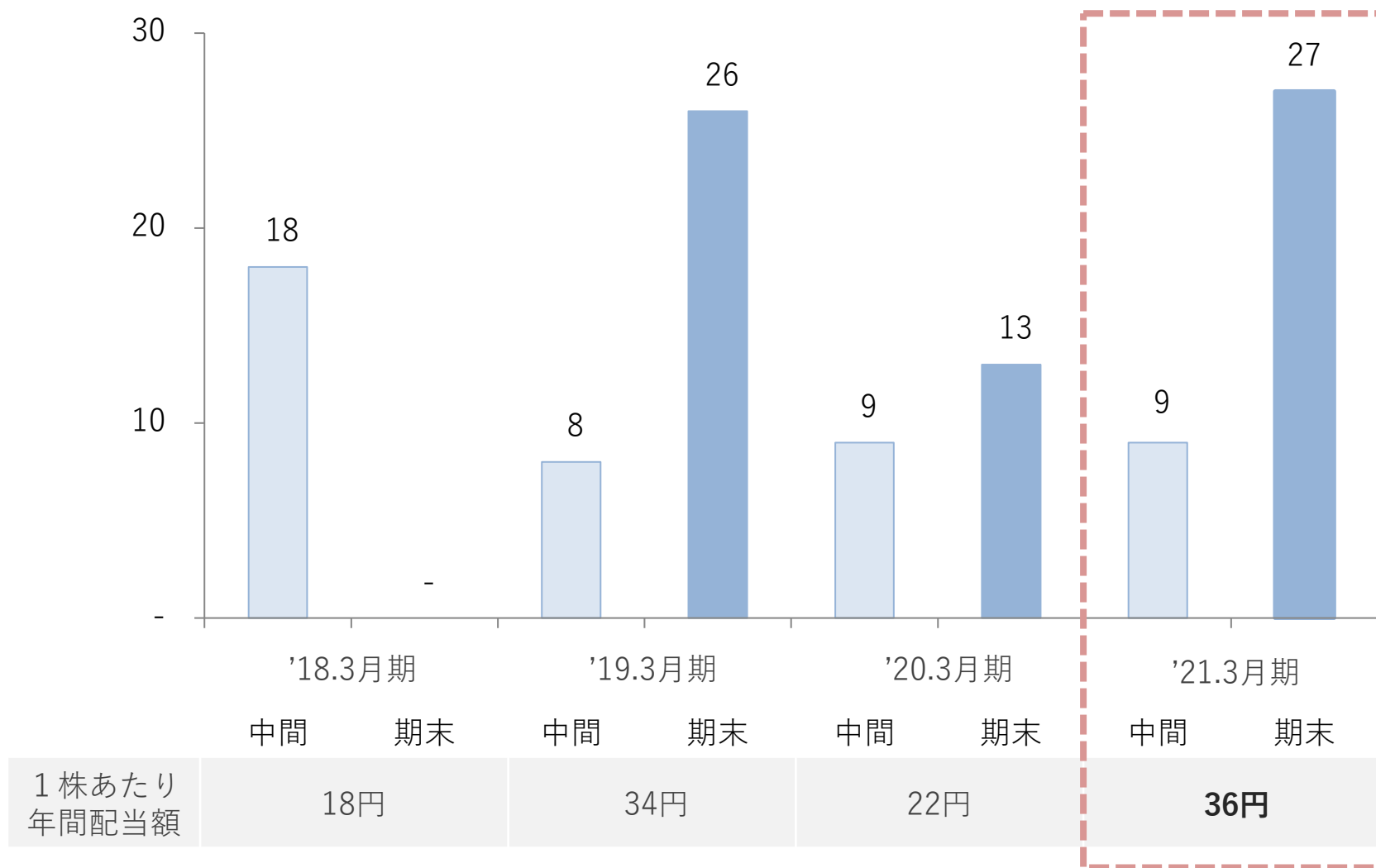


» 上期に販売促進費を増やし、下期に売上高・営業利益が高まる傾向。

3. 配当方針

3 配当方針：純資産配当率(DOE) 4 %かつ配当性向100%以内

(単位：円)



- » 配当方針の「連結純資産配当率4%かつ配当性向100%以内」を基準に'21.3月期年間配当額は36円の予定。
- » '19.3月期より、中間・期末の支払割合を従来の「1：1」から「1：3」の比率に変更。

4. 補足資料 会社概要と事業紹介

4 会社概要

(2020年9月末 現在)

商号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル
設立	1971年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ クリクラ事業：宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の製造・販売 ■ レンタル事業：ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等 ■ 建築コンサルティング事業：地場工務店に対する建築関連ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、コンサルティング業務並びに住宅フランチャイズ事業 ■ 住宅事業：戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務 ■ 美容・健康事業：化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売
連結子会社	<p>株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業) 株式会社 JIMOS (美容・健康事業) 株式会社ベルエアー (美容・健康事業) 株式会社ジェイウッド (住宅事業) ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) 株式会社ケイディアイ (住宅事業) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生) 株式会社国木ハウス (住宅事業) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社キューオーエル倶楽部 (美容・健康事業) (2020年12月に株式会社ベルエアーに吸収合併)</p>
従業員数 (正社員)	連結1,592名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	6,729,493,750円
発行済株式数	24,306,750株 (一単位：100株)
株主数	10,124名 (自己名義株式を除く総株主数)

4 主な指標（連結ベース）経営指標から

	'20.3月期 実績	'19.3月期 実績	増減
期中平均発行済株式数	22,405,194 株	19,802,890 株	+ 2,602,304株
1株当り純資産（BPS）	881.83 円	899.84 円	▲ 18.01 円
1株当り当期純利益 （EPS）	22.94 円	40.32 円	▲ 17.38 円
自己資本比率	42.6 %	40.6 %	+ 2.0 pt
自己資本純利益率 （ROE）	2.6 %	4.7 %	▲ 2.1 pt
1株当り配当金	22 円	34 円	▲ 12 円
配当性向	95.9 %	84.3 %	+ 11.6 pt
純資産配当率	2.5 %	3.9 %	▲ 1.4 pt

1971年 5月	東京都町田市に株式会社ダスキン鶴川設立	
1977年 8月	株式会社ナックに商号変更	
1995年 9月	日本証券業協会（現：JASDAQ）に店頭登録	
1997年 1月	東京証券取引所市場第二部上場	
1999年 9月	東京証券取引所市場第一部指定	
2001年 12月	宅配水事業「クリクラ」に進出	
2002年 2月	連結子会社（現：株式会社レオハウス）で住宅事業に進出	
2010年 3月	創業 40周年、売上高 500億円達成	
2012年 3月	株式会社 アーネストを子会社化	
2013年 7月	株式会社 JIMOSを子会社化、株式会社ジェイウッドを子会社化	
2015年 4月	クリクラ本庄工場新設	
2015年 9月	株式会社エコ&エコ（現：ナックススマートエネルギー株式会社）を子会社化	
2016年 5月	株式会社ケイディアイを子会社化	
2016年 12月	株式会社ベルエアーを子会社化	
2017年 4月	株式会社suzukuriで住宅事業を開始	
2017年 6月	株式会社国木ハウスを子会社化	
2020年 2月	エースホーム株式会社を子会社化	
2020年 5月	株式会社レオハウスの全株式を譲渡	

4 各事業の市場におけるポジショニング

クリクラ事業

- 製造本数**業界No.1** (約1,800万本)
- **業界初**のHACCP認証、ecoマークを取得
- **業界初**の研究開発専門センター設立

レンタル事業

- ダスキンフランチャイズディーラー**売上No.1** (約2,000社中)
- **日本初**の厚生労働省承認 飲食店向け害虫駆除器「with」
- 2012年3月よりビルメンテナンス事業を手がける株式会社アーネストを子会社化
- 2018年8月に株式会社ダスキンと資本業務提携契約を締結

建築コンサルティング事業

- ナック会員工務店 **約7,000社**
- 地場工務店向け「受注促進」「原価低減」支援事業
- 太陽光発電システム、スマートハウス商材などの卸販売
- 2015年9月より省エネ商材販売・工事を手がける株式会社エコ&エコ (現 ナックスマートエネルギー株式会社) を子会社化
- 2017年4月より異業種との提携を展開する住宅事業を展開する株式会社suzukuriを子会社化 (2020年9月に吸収合併)
- 2020年2月より住宅フランチャイズ事業を展開するエースホーム株式会社を子会社化

住宅事業

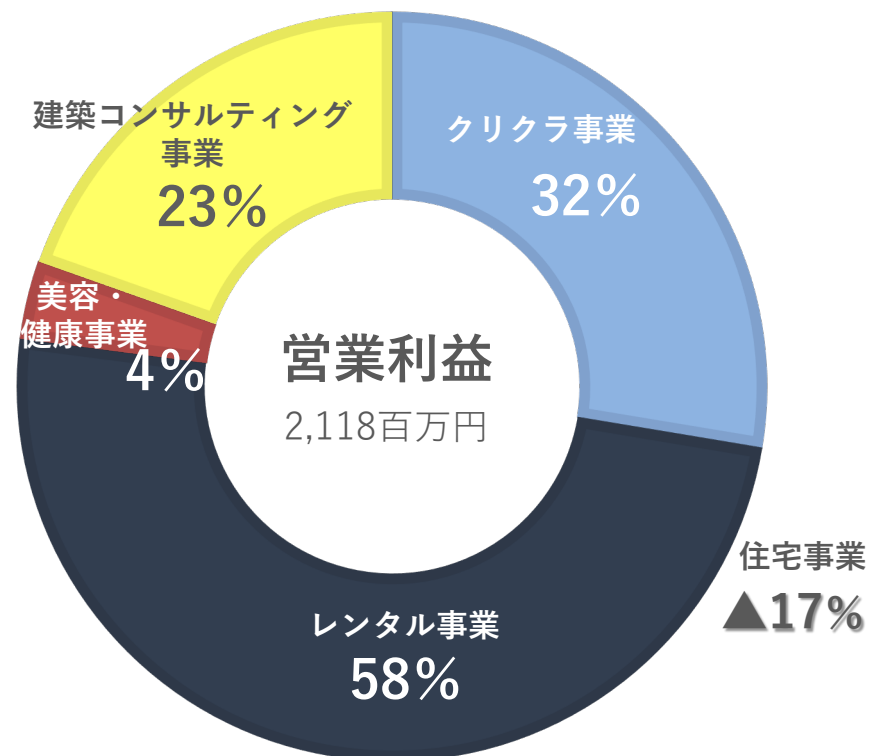
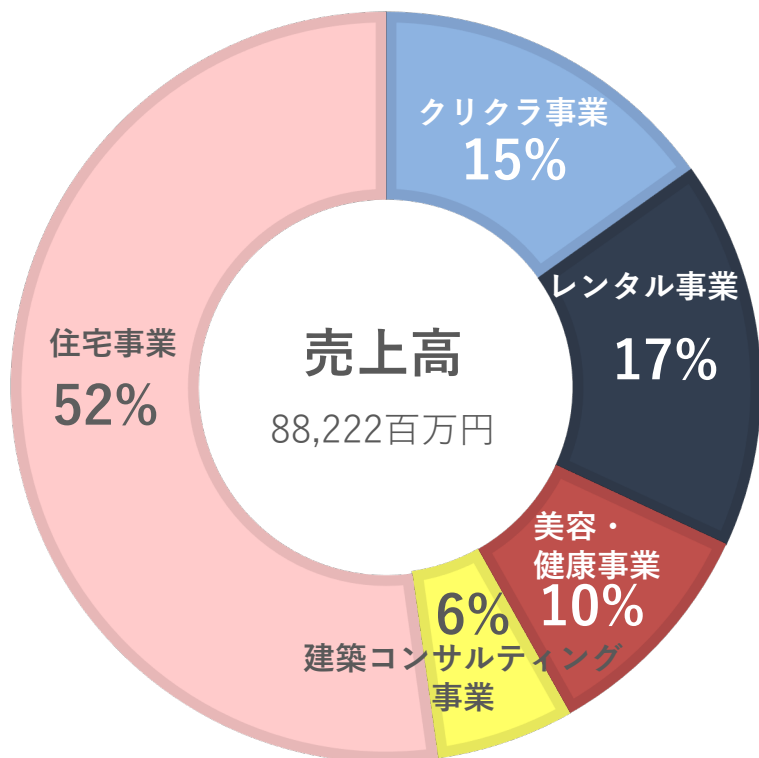
- 2013年7月より自然素材住宅を手がける株式会社ジェイウッドを子会社化
- 2016年5月より首都圏を中心に分譲・注文住宅を手がける株式会社ケイディアイを子会社化
- 2017年6月より北海道で住宅事業を展開する株式会社国木ハウスを子会社化

美容・健康事業

- 2013年7月、株式会社 JIMOS の子会社化により美容・健康事業参入
- 40~60代の女性を中心とした層に対する、化粧品等の通販事業
- 2016年12月より栄養補助食品 (サプリメント) を手がける株式会社ベルエアーを子会社化

4 売上高・営業利益構成比（'20.3期実績）

- クリクラ事業
- レンタル事業
- 美容・健康事業
- コンサル事業
- 住宅事業



売上高営業利益率

※本社費は除外しています

クリクラ事業	レンタル事業	建築コンサルティング事業	美容・健康事業	住宅事業	全社
7.7%	12.5%	13.9%	1.43%	▲1.2%	2.4%

4 セグメント別営業利益の推移

» 安定したレンタルと建築コンサルティングを基盤に、積極的に投資をして成長を目指す。

